

REVERB (PEDAL)

# MERCURY7

MANUAL v.2

MORE THAN LOGIC. UNITING ART + ENGINEERING.

## 日本語版マニュアル

### 目次

第1章	MERCURY7 各機能解説	2
第2章	グローバルセッティング	3
第3章	エクスペッション端子モード詳説	4
第3a節	Expression Pedal	4
第3b節	External Switch	4
第3c節	4 Button Preset Switch	4
第3d節	MIDI	4
第4章	ノブ動作詳説	5
第5章	プリセット詳説	5
第6章	MIDI CC 一覧表	6
第7章	MERCURY7 プリセット 1 の工場設定	7
第8章	技術仕様	8

# 第1章 MERCURY 7 各機能解説

**MODULATE :** リバーブサウンドにかかるモジュレーションの深さの設定です。  
**Alt モード :** MODULATION SPEED. モジュレーションスピードの設定です。

**SPACE DECAY :** リバーブのディケイタイム (残響時間) のコントロールです。  
**Alt モード :** PREDELAY. プリディレイ (初期反射) タイムの設定です。

**LO FREQUENCY :** 低域のリバーブ反応の調整です。ノブが最大値に近い位置では低域のディケイタイムが長くなり、より広い部屋のリバーブサウンドをシミュレートします。  
**Alt モード :** DENSITY. リバーブ音の反射量 (エコー) の調整です。

**MODULATE :** リバーブサウンドにかかるモジュレーションの深さの設定です。  
**Alt モード :** MODULATION SPEED. モジュレーションスピードの設定です。

**MIX :** ドライ・ウェット音のミックスバランス調整です。  
**Alt モード :** PITCH VECTOR MIX. ピッチシフトされた Intra-tank の反射音と、通常反射音のミックスバランス調整です。

**HI FREQUENCY :** 高域のリバーブ反射音の吸音率を調整します。最小にするほど高域のリバーブタイムが増加し、よりナチュラルなルームリバーブサウンドへと変化します。  
**Alt モード :** VIBRATO DEPTH. リバーブ入力にビブラートを付加し、所謂 "LUSH" サウンドを再現します。

**SWELL LED / ALT FUNCTION :** スウェル機能がアクティブのときは LED が点灯します。また、ボタンを押し続けている間、Alt モードが有効となります。

**SWELL :** オートスウェル機能です。ホールドすることでディケイのサスティーンが最大になります。

**PITCH VECTOR :** Intra tank (チェンバー) ピッチインターバルを 1 Oct 上下, デチューン上下, 5 度上下の間で設定します。  
**Alt モード :** ATTACK TIME. スウェル・エンベロープのアタックタイムの調整です。

**BYPASS LED / ALGORITHM SELECT :** LED がバイパスのステータスを表示します。小さい LED はリバーブアルゴリズムの設定を表示します。  

- **ULTRAPLATE :** プレートリバーブ, リバーブサウンドは早めのビルドアップ。
- **CATHEDRA :** 教会のリバーブのような壮大なアルゴリズム, 遅めのビルドアップ。

**BYPASS :** LED 点灯中は ON, 消灯中は OFF となります。

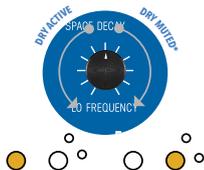
## 第2章 グローバルセッティング

グローバルセッティングへのアクセス方法：



左側の SWELL フットスイッチの上にある LED ボタンを押しながら電源を投入します（起動には3秒を要します）。フロントパネルの全 LED が3回点滅します。

**KILL DRY**：\*DRY MUTED 時、Wet モードのみがアクティブになります。パイパス時は本機全体がミュートされます。



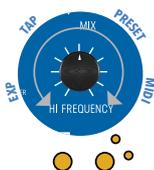
左側 LED は DRY ACTIVE 表示 右側 LED は DRY MUTED 表示

**INPUT MODE**：



左側 LED は MONO 表示 右側 LED は TRS 表示

**EXPRESSION MODE**：



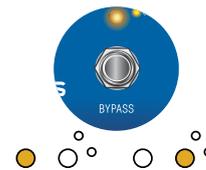
フロントパネルの LED が点滅して EXP, TAP, PRESET, MIDI を示します。

**LINE/SYNTH LEVEL**：



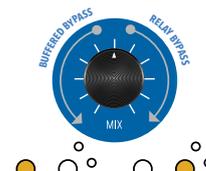
左側 LED は INSTRUMENT LEVEL 表示 右側 LED は LINE LEVEL 表示

**MIDI THRU ON**：右側フットスイッチでトグル動作



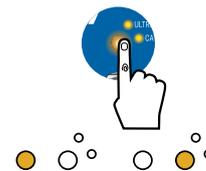
左側 LED は MIDI OUT 表示 右側 LED は MIDI THRU 表示

**BYPASS MODE**：



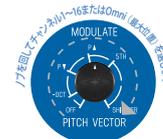
左側 LED は BUFFERED BYPASS 表示 右側 LED は RELAY BYPASS 表示

**TRAILS**：右側 LED ボタンのみを用いて TRAILS のオン/オフを交互に切り替えます。



左側 LED は OFF 表示 右側 LED は ON 表示

**MIDI CHANNEL**：



フロントパネルの LED が点滅して二進数を示します。

MIDI チャンネル	LED 点滅パターン
1	0 0 0 0 5 0 9 13
2	0 0 0 1 6 0 10 14
3	0 0 1 0 7 0 11 15
4	0 0 1 1 8 0 12 16

## 第3章 エクスプレッション端子モード詳説

エクスプレッションペダル用の端子はグローバルセッティングにて選択可能な4つの異なる操作モード——Expression Pedal, External Switch, 4 Button Preset

Switch, MIDI ——を提供する多機能ジャックです。

### 第3a節 Expression Pedal

エクスプレッションペダルはすべてのノブの値（第2レイヤーのノブの値も）の設定をその2セット間で変化させます。つまり、完成した性質の異なるプリセット2個の間を、エクスプレッションペダルを使って変化させることができます。まず、エクスプレッションペダルを「トゥアップ（つま先の上がった）位置」にして、各ノブを希望するように設定します（第2レイヤーのノブも含めて）。次にエクスプレッ

ションペダルを「トゥダウン（つま先の下がった）位置」にして、各ノブを第2のサウンドを作るように設定します。これでエクスプレッションペダルをヒールからトゥまでスワイプすれば、この2セットの設定間を滑らかに変化できるようになります。MIDI CC #04 を用いてエクスプレッションペダルを操作することも可能です。



## 第4章 ノブ動作詳説

選択されている EXP ジャックのモードに応じて、Mercury7 は電源投入時にトップレイヤーのノブをスキャンしてノブを更新します。Mercury7 はその EXP ジャックのモードが Expression Pedal または External Switch のいずれかに設定された場合、起動時にノブをスキャンします。つまり、本機がオフのときであってもユーザーがノブ設定を変えた場合、次回本機の電源を入れたときに本機がどのような音になるかはそれらのノブの値で決まるといえます。また、スウェルならびにアルゴリズムのタイプは自動的に保存され、最後に本機が通電されていたとき

の設定に戻ります。EXP ジャックのこれら 2 つのモードでは Mercury7 は従来のギターペダルとまったく同じように動作し (WYSIWYG)、EXP ジャックのモードが 4 Button Preset Switch または MIDI のいずれかに設定された場合は、本機はシンプルに現在のメモリー位置内に保存されているプリセットを呼び出します。この設定によって、演奏のために正確なサウンドを呼び出すことに確信を持ちたいユーザーのために、Mercury7 は確実に標準的なマルチプリセットの機材のように動作するようになります。

## 第5章 プリセット詳説

Mercury7 には 16 個の内部プリセット位置があります。最初の 4 つのプリセットには互換性のある 4 ボタンのフットスイッチでアクセスでき、全 16 個のプリセットには MIDI のプログラムチェンジメッセージでアクセスできます。

プリセットを保存するには単純に ALT ボタンを長押しします。プリセットはユーザーが ALT+ (第 2 レイヤー) ノブを編集するたびに保存されます。このようにして電源が切られたあとに、Mercury7 はユーザーの第 2 レイヤーノブの設定をそのメモリー内に保つことができようになっています。

プリセットを現在の位置とは別の位置に保存するには、互換性のある 4 ボタンフットスイッチ上の希望するプリセットボタンを押すか、プログラムチェンジメッセージを MIDI 経由で編集したいプリセットに送信します。変更を行ったあとには ALT ボタンを長押しして保存してください。

### 1. Meris社プリセットスイッチを使用する場合

- Merisペダル本体のグローバルセッティングにおいて、EXPRESSION MODEを4 Button Switchに設定します。(各ペダルのマニュアル参照)
- プリセットスイッチとMerisペダルをTRSケーブルを使用し、接続します。
- 保存したいスイッチを押し、保存したいサウンドを作ります。
- 完成しましたらALT (HOLD)スイッチを長押しします。
- これでプリセットスイッチの該当の番号にプリセットが保存されます。

### 2. MIDI装置を使用する場合

- Merisペダル本体のグローバルセッティングにおいて、EXPRESSION MODEをMIDIに設定します。(各ペダルのマニュアルを御覧ください)
- Meris社のMIDI I/Oを介してMIDI装置とMerisペダルを接続します。
- 保存したい番号のプログラムチェンジメッセージをMerisペダルに送信します。
- 保存したいサウンドになるようにMerisペダル本体の設定を変更します。
- 完成しましたら ALT (HOLD) スイッチを長押しします。
- 該当のプログラムチェンジ番号にプリセットが保存され、プログラムチェンジメッセージを送信することでプリセットが呼び出されます。

## 第 6 章 MIDI CC 一覽表

CONTROL CHANGE	MERCURY7 CONTROL	RECEIVE VALUE RANGE	TRANSMIT VALUE RANGE
CC# 04	EXPRESSION PEDAL	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 14	BYPASS	0 ~ 63 = FX BYPASS 64 ~ 127 = FX ENABLE	0 = FX BYPASS 127 = FX ENABLE
CC# 16	SPACE DECAY	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 17	MODULATE	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 18	MIX	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 19	LO FREQ	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 20	PITCH VECTOR	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 21	HI FREQ	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 22	PREDELAY	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 23	MOD SPEED	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 24	PITCH VECTOR MIX	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 25	DENSITY	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 26	ATTACK TIME	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 27	VIBRATO DEPTH	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 28	SWELL	0 ~ 63 = SWELL OFF 64 ~ 127 = SWELL ON	0 = SWELL OFF 127 = SWELL ON
CC# 29	ALGORITHM SELECT	0 ~ 63 = ULTRAPLATE 64 ~ 127 = CATHEDRA	0 = ULTRAPLATE 127 = CATHEDRA

## 第7章 MERCURY7 プリセット1の工場設定

EXPRESSION	PARAMETER	KNOB POSITION	REAL WORLD VALUE	MIDI DECIMAL	MIDI HEX
TOE UP	SPACE DECAY	1時少し前の位置	ディケイを63%に設定	80	50
TOE UP	MODULATE	9時の位置	10%のモジュレーション深度	12	C
TOE UP	MIX	12時を少し過ぎた位置	60%リバース, 100%ドライ	77	4D
TOE UP	LO FREQUENCY	MAX	低域減衰なし	127	7F
TOE UP	PITCH VECTOR	MIN	ピッチシフト停止	0	0
TOE UP	HI FREQUENCY	MAX	高域減衰なし	127	7F
TOE UP	PREDELAY	MIN	0msのプリディレイ	0	0
TOE UP	MOD DEPTH	10時の位置	16%のモジュレーション深度	21	15
TOE UP	PITCH VECTOR MIX	1時の位置	70%ピッチ, 30%ドライ	88	58
TOE UP	DENSITY	MAX	最大デンシティ	127	7F
TOE UP	ATTACK TIME	12時の位置	約600ms	63	3F
TOE UP	VIBRATO DEPTH	MIN	ビブラートはオフ	0	0
	SWELL	N/A	スウェル停止	0	0
	ALGORITHM	N/A	ULTRAPLATE	0	0
TOE DOWN	SPACE DECAY	MAX	最大ディケイ時間	127	7F
TOE DOWN	MODULATE	MAX	最大モジュレーション深度	127	7F
TOE DOWN	MIX	MAX	100%リバース, 0%ドライ	127	7F
TOE DOWN	LO FREQUENCY	MAX	低域減衰なし	127	7F
TOE DOWN	PITCH VECTOR	MIN	ピッチシフト停止	0	0
TOE DOWN	HI FREQUENCY	MAX	高域減衰なし	127	7F
TOE DOWN	PREDELAY	MAX	41.5msのプリディレイ	127	7F
TOE DOWN	MOD DEPTH	MIN	最小モジュレーション深度	0	0
TOE DOWN	PITCH VECTOR MIX	1時の位置	70%ピッチ, 30%ドライ	88	58
TOE DOWN	DENSITY	MAX	最大デンシティ	127	7F
TOE DOWN	ATTACK TIME	12時の位置	約600ms	63	3F
TOE DOWN	VIBRATO DEPTH	MIN	ビブラートはオフ	0	0

## 第 8 章 技術仕様

---

変換	24 ビット A/D および D/A	電源	DC 9 V, 150 mA, 2.1 mm ジャック (センターピン=ネガティブ)
DSP	32 ビット浮動小数点	バイパス	トウルーパーパス (リレー) またはアナログバッファアンプの選択式バイパス
サンプルレート	48,000 Hz	寸法	W 108 mm × D 114 mm × H 51 mm
入力インピーダンス	1 M $\Omega$	重量	414 g
S/N 比	115 dB		
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz		
最大入力レベル	+9 dBu (INST レベル設定)		
	+12.5 dBu (LINE/SYNTH レベル設定)		

## ファクトリーリセット

---

電源投入時にMODE ボタンを押し続けていることで全プリセットならびに全グローバル設定をそれぞれの工場出荷時の状態にリセットできます。リセットが完了したら本機の電源を入れ直してください。

**Mix Wave**<sup>®</sup>

Meris 社日本代理店 ミックスウェーブ株式会社

〒154-0014 東京都世田谷区新町 2-3-2-3F

電話番号：03-6804-1681 Email：sales@mixwave.co.jp Fax：03-5450-8201

Web：http://www.mixwave.co.jp

本書は米国 Meris 社の許諾を得て同社の『MERCURY7 Manual v.2 (2017年7月26日発行)』をミックスウェーブ株式会社が翻訳・編集したものです。無断複写・転載を禁じます。

Japanese Edition, © 2019 Mix Wave, Inc. All rights reserved.